



町長日誌

No.226

町長日誌の第 226 号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

8月17日 (水曜日) PM3 : 30

昨日まで夏季休暇を頂き、今日からまた通常勤務となりました。お盆には久々に弟妹夫婦も集まり、亡き両親の事やコロナの事など話に花が咲きました。兄弟が集まり、両親の在りし日の思い出を話すと、自分が知らなかった両親と弟妹達とのエピソードが聞けたりして、良い供養になったのかと一人思った次第です。さて、8月に入り「線状降水帯」という言葉をよく耳にします。東北から道南などにかけて前線が居座り、なかでも局地的に雨を降らせるのが線状降水帯です。お盆にかけて道内でも大雨が降り、冠水や土砂崩れなどの被害が出ています。特に青森県のリンゴの被害は甚大で、これまでリンゴの災害は風台風による落下が大半でしたが、作業しやすくするため低木化したことが冠水被害を招いたように思います。オホーツク管内では7月に訓子府町や湧別町でたまねぎを中心に雹と雨の被害を受け数百haが廃耕になると聞いています。戦争では大砲の砲弾が飛んできて私たちの生活を破壊します。しかし、慈雨とも言われる雨が恐ろしい爆弾の様に人間の作ったインフラを破壊し農作物を無き物にしてしまいます。昔から私たちは自然と闘いながら命を紡いできましたが、ここのところその頻度が増しているように思えてなりません。このような中、政府は稲作農家に米を作るな！酪農家に牛乳を搾るな！と言います。北欧で戦争が起きれば小麦も手に入らなくなる国際情勢下で、私たちの明日の食べ物が果たして保障されているのか？私は不安でなりません。

7月24日 (日曜日)

ビックボスですっかり人気回復の日本ハムファイターズですが、今年の応援大使派遣 17 市町村に興部町が選ばれています。先週と今週の 2 週に亘り「なまらうまいっしょグランプリ」として球場で特産品販売を行いました。本町からは観光協会と役場職員が出向き、興部ハムのソーセージの炭焼きを提供、僅か 2 時間ほどで完売してしまう大好評でした。このイベントでは、来場されたお客様に商品の味や売り方、行ってみたい町等のポイントでファン投票をしていただくことになっており、見事興部町が他の町を押さえ優勝しました。

8月3日 (水曜日)

コロナにより延び延びになっていた医療関係機関への挨拶に出向きました。救急搬送でお世話になっている名寄市立総合病院、脳神経外科から医師派遣を受けている旭川医科大学、放射線科と皮膚科から医師派遣を受けている札幌医科大学、宿日直医師の紹介をお願いしている北海道地域医療振興財団、北海道自治体病院協議会に日頃のお礼などを申し上げてきました。特に旭川医大と札幌医大の学長が4月に替わりましたので、医師派遣継続のお願いをし、快く承諾して頂きました。大学等からの医師派遣により地方病院の医療が保たれています。しかし、「働き方改革」により 2024 年 4 月から新しい制度が始まります。例えば、これまでは金曜日 17 時～月曜日 8 時まで一人の医師で宿日直勤務をしていただきましたが、これが出来なくなります。医師数を増やせば経費がかかり過ぎますし、医師の手配も困難です。現在、都道府県ごとの地域事情に応じた緩和策を検討中という情報も入ってきていますが、とても頭の痛い改革です。

夏休みも間もなく終わり、吹く風も秋の気配が漂うようになりました。19 日から北海道はコロナ対策において入院患者が増加傾向であることから医療機関に対して 1 段階厳しい局面に入った対応をする旨の指示を出しました。町内でも陽性者と濃厚接触者を含めた自宅療養者は 20 名近くの状況が続いています。夏の疲れが出やすい時期ですのでご自愛ください。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など（使い古しのもので構いません）に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

